

ごてんばの富士山豆博士事業

平成 18 年度から富士山の豊かな自然と恵みを後世に継承するため富士山基金の一部を活用した「ごてんばの富士山豆博士事業」を実施しています。

ここでは、今年度実施した高根小学校・朝日小学校の取り組みを紹介します。

環境課 ☎ (83)1603

高根小学校の取り組み

「富士山豆博士になろう」をテーマに学習

6 年生 40 人が総合的な学習の時間に、子どもたちが自ら課題を設定して富士山について調べ学習を進めました。また、富士山世界遺産センターや富士山科学研究所、富士浅間神社を見学して、富士山信仰や富士山の気象、自然について学びを深めました。学習のまとめとして、一人ひとりが学んだ内容をパンフレットや新聞、ポスターなどにまとめて発表会を行いました。



▲成果品

取り組み 風景



感想

平野 由起さん・佐藤 舞乙さん・日比野 紗瑠さん

『私たちは、富士山学習を通して学んだことが三つあります。一つ目は、富士山のふん火についてです。富士山がふん火した回数が百回以上もあることを知り、とてもおどろきました。富士山がふん火したときに、必ずよう岩が流れるわけではないことは、少し意外でした。

二つ目は、富士山にかかっている雲と天気の関係です。富士山にかかっている雲を見れば、大体の天気が分かるということを知りました。雲の種類については、かさ雲しか知らなかったけど、同じかさ雲でも、「ひとつかさ」や「にかいかさ」など、いろいろな種類があることが分かりました。

三つ目は、富士山のでき方についてです。富士山はよう岩や火山灰などが積み重なってできた山だということも、初めて知りました。今、富士山は日本一高い山だけど、大昔は、まだよう岩や火山灰が積み重なっていないから、日本一ではなかったのかなと思いました。

富士山のことについて、いろいろなことを知ることができて良かったです。』



▲成果品

朝日小学校の取り組み

富士山パンフレットを作成

6 年生 60 人が「なぜ富士山は世界自然遺産にならないのか」や「富士山の絶景スポットをみんなに紹介したい」という思いに基づいて調べ学習を行いました。そこで学んだことをまとめたオリジナルのパンフレットを作成し、御殿場駅などに設置しました。パンフレットには専用のハガキを付けてあり、子どもたちへ感想や疑問を送ることが出来ます。

取り組み 風景



感想

才川 あゆみさん

『総合的な学習の時間で、富士山について興味のある事、富士山への課題を個人で調べ、グループでまとめ、発表をしました。友達の発表を聞いて、さらに富士山への興味や知識が深まりました。

そこで、沢山のの人に調べたことを広めたいと考え、パンフレット作りをしました。パンフレットには、富士山の魅力や、すばらしさ、自然遺産にならない理由などを分かりやすくまとめました。

パンフレットを見た方々からのアンケートでは、魅力があることを知ってもらえたのと同時に、環境破壊の実態を知ってもらうことができました。

この学習を通して、富士山をもっと身近に感じることができたり、富士山をもっとより美しくしていくための活動をしたりしていきたいと思います。』

ごてんばの富士山豆博士事業とは？

各学校の特徴や地域性を生かして身近な富士山に関することを学び、触れ、親しむことで新しい発見をし、その素晴らしさを再認識することを目的とした事業です。富士山豆博士事業に取り組んだ児童・生徒を富士山豆博士として認定します。今年度を含め、これまでに 7,472 人の富士山豆博士が誕生しています。

富士山基金とは？

富士山の雄大な自然を守り、より豊かで美しい富士山を後世に伝えることを目的に頂いた寄附金を積み立てた基金です。この目的のためにのみ使うことが出来、富士山豆博士事業などに活用しています。市内公共施設の一部に富士山の形をした募金箱を設置しています。環境課で直接寄附することも可能です。

